

第5学年 社会科学習指導案

王寺町立王寺北義務教育学校

教諭 高山 翔伍

1. 単元名 情報を生かして発展する産業 ～行ってみたい観光の町 王寺～

2. 単元の目標

○観光産業における情報の活用の現状について調べることを通して、大量の情報や情報通信技術の活用は、さまざまな産業を発達させたり、国民生活を向上させたりしていることを理解することができる。 【知識及び技能】

○観光産業における情報の活用の現状について調べたことを活用し、情報を生かして発展する産業が国民生活に果たす役割について考え、表現することができる。

【思考力・判断力・表現力等】

○観光産業における情報の活用の現状について調べたことを活用し、情報と国民生活の向上について意欲的に考える。 【主体的に学習に取り組む態度】

3. 単元について

(1) 教材観

本単元では、次の学習指導要領の内容をふまえて構成した。

- (4) 我が国の産業と情報との関わりについて、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
- ア 次のような知識及び技能を身に付けること。
- (イ) 大量の情報や情報通信技術の活用は、様々な産業を発展させ、国民生活を向上させていることを理解すること。
- (ウ) 聞き取り調査をしたり映像や新聞などの各種資料で調べたりして、まとめること。
- イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。
- (イ) 情報の種類、情報の活用の仕方などに着目して、産業における情報活用の現状を捉え、情報を生かして発展する産業が国民生活に果たす役割を考え、表現すること。

本単元では、観光業の情報の種類、情報の活用の仕方などに着目し、聞き取りをした内容や各種資料を調べたり、まとめたりすることで、大量の情報や情報通信技術の活用が様々な産業を発展させ国民生活を向上させているか考えられるようにすることを主な学習内容にしている。

情報と聞くとテレビや新聞などで知る天気予報や芸能ニュースなどが想像しやすい。「情報を生かして発展する産業」では、観光客数や国別来日者数など普段聞きなれないものも情報であると気付くことができ、「どこの国の人が多く来ているのか」など異文化にも興味を持たせつつ、読み取りや予想を通して、学習への興味・関心を持たせることができる。

また、王寺町には、国重要文化財に指定された物を多く保管している達磨寺、5つの世界遺産が一望できる明神山と魅力あふれる観光資源が多くある。

これらを守り、後世へ伝えていこうとしている方々の話しを聞き、交流することで、自分たちが住

んでいる町も情報を活用し、魅力を発信しようとしていることに気付かせたい。そして王寺町を愛し多くの人に王寺町の魅力を発信している方々の情熱を、この教材を通して気付かせたいと考える。

(2) 児童観

本単元の指導に際して、児童の実態を把握するためにアンケートを実施したところ、以下の結果が得られた。

○アンケート実施日：令和7年1月10日 回答児童数：32名 質問紙で実施

質問①【社会科は好きですか？】	
好き	10人
どちらかと言えば好き	12人
どちらかと言えば嫌い	7人
嫌い	0人

質問②【王寺町は好きですか？】	
好き	25人
どちらかと言えば好き	6人
どちらかと言えば嫌い	1人
嫌い	0人

質問③【家族と王寺町のこと(昔の出来事などについて)話すことはありますか？】	
ある	6人
ない	26人

質問④【家族と休みの日に王寺町の観光施設に行き遊びますか？】	
よく遊ぶ	0人
遊ぶ	4人
あまり遊ばない	6人
遊ばない	22人

質問⑤【「機関車公園」の正式な名前を知っていますか？】	
知っている	1人
知らない	31人

質問⑥【家族がなぜ王寺町を選んで、くらしているのか話したことはありますか？】	
ある	4人
ない	28人

質問①では、「好き」「どちらかと言えば好き」と回答している児童が多かった。主な理由として、「今まで知らなかったことが知れて面白い。」「日本だけじゃなくて世界のこともわかるから。」などがあり、社会の授業を肯定的に捉え、取り組んでいる様子が伺える。一方、「どちらかと言えば嫌い」と回答した児童の理由として、「覚えるのが得意じゃない。」「いろいろなことを考えるのが大変。」など社会の授業に関して否定的な様子が伺えた。

質問②では、「好き」「どちらかと言えば好き」と答えた児童が半数以上占めており、主な理由は「王寺の人は、親切な人が多い。」「いろいろなお店がある。」があり、王寺町への愛着があることが伺える。一方で、質問③、④、⑥より、王寺町のことについて家族と話したり、王寺町の名所などに家族で行った経験がある児童は少なかった。この結果より、王寺町出身の保護者を持つ児童の数も少なく、両親が王寺町のことを話してくれたり、家族で王寺町で遊ぶという経験が少なく、質問⑤でもわかるように、「機関車公園」を「舟戸児童公園」と認識できておらず、王寺町についてまだまだわからないことが多いということが伺える。

そこで学習を通して、王寺町に興味・関心を持ちながら、自分たちでできる王寺町への取り組みを考えることで、王寺町への関心を深め・そして愛着を持って生活し、「自分たちの町をさらに良くしよう。」と考え行動する素地を養うことが重要だと考える。

(3) 指導観

前時までの学習として同じ「情報を生かす産業」の中でも『販売業』について学習を進めており、『販売業』と情報との関係についてはおおむね理解できている。本単元では、「情報を生かす産業」として「観光業」を取り扱うことで、情報を生かす産業は「販売業」だけでなく「観光業」も使

っており、国民生活を向上させているという理解もいっそう深まると考えられる。

上記で述べたように、当学級の児童は、社会が好きで王寺町への愛着があるが、「王寺町は何をしているのか。」「自分が好きな町にはどんなものがあるのか」等まで意識していない児童が多い。そこで、全10時間のうち前半7時間を社会科、後半3時間を総合的な学習の時間として指導する。

前半の社会科では、自分たちが好きな王寺町を扱うことで、2年生の「町たんけん」や3年生の「校区たんけん」にも触れる。そうすることで、「王寺町も観光スポットたくさんあったな。」など既習学習を振り返る。そして、王寺町にも情報を活用し、観光業を盛り上げていこうという動きがあるということを確認させたい。

王寺町の取り組み、そこで活動する方の気持ちに触れることで、「自分たちも王寺町の一員として何かできないだろうか。」というような王寺町への親しみや自分たちの町をよりよくしていこうとする素地も身につけさせたいと考える。そこで、総合的な学習の時間では、まとめの制作物「観光案内」を作る活動を取り入れる。社会科で情報の活用についての知識・技能を身に付けて考え、まとめの制作物を作るという教科横断的な学習を取り入れることで、より一層王寺町への親しみが生まれると同時に、今後自分たちの町をよりよくしていこうとする態度も身につけさせたい。

(4) ESD との関連

・本学習で働かせる ESD の視点(見方・考え方)

- 相互性：担当者だけが PR して王寺町を盛り上げるのではなく、自分も王寺町の未来を担う者の一人だと認識すること。
- 公平性：今ある観光資源があるのは、長い歴史の中で先人たちが未来の自分たちに向けて残し、自分たちが使えている。自分たちが次の世代に伝えないと、途絶え、不公平が出てしまうこと。
- 責任性：担当者だけに任せるのではなく、自分にもできることはないかと考え行動すること。

・本学習で育てたい ESD の資質・能力

○コミュニケーションを行う力

観光協会の方やボランティアガイドさんが「どのような思いで取り組んでいるのか。」「どのようなことが大切なのか。」交流を通じて理解し、自分の考えを深める。

○つながりを尊重する態度

活動している人々の思いを受け止め、王寺町や活動している人々に興味や関心を持ち、今度は自分たちが王寺町を盛り上げようとする態度を養う。

○他者と協力する態度

友だちと意見を出し合ったり、ガイドブックを作ったりするなどの協力をし、共に王寺町をよくしていこうとする態度を養う。

・本学習で変容を促す ESD の価値観

- 王寺町の発展のために活動している人々の思いや行動を考え、深めることで、文化や行事を大切に思い、次の世代へ伝えていこうとする思いを大切にし、自分たちも実行に移していこうとする考えを養う。

・達成が期待される SDGs

- 目標 11：住みつけられるまちづくりを



4. 単元の評価規準

(ア)知識・技能	(イ)思考・判断・表現	(ウ)主体的に学習に取り組む態度
<p>①情報の種類や情報の活用・発信の仕方について聞き取り調査や写真，資料などで調べ，必要な情報を集めたり読み取ったりして，観光産業における情報活用の現状を理解している。</p> <p>②調べたことをもとに，大量の情報や情報通信技術の活用は，さまざまな産業を発達させ，国民生活を向上させていることを理解している。</p>	<p>①情報の種類，情報の活用のしかたなどに着目して，問いを見出し，観光産業における情報活用の現状について考え表現している。</p> <p>②観光産業の変化や発展を関連付けて，情報を生かして発展する産業が国民生活に果たす役割を考え適切に表現している。</p>	<p>①産業と情報との関わりについて，これまでの学習を振り返ったりして，学習問題を意欲的に追及し，解決しようとしている。</p> <p>②学習したことをもとに，情報化の進展に伴う産業の発展や国民生活の向上について，産業と国民の立場から多角的に考えている。</p>

5. 単元の指導計画（全10時間）

学習活動	○学習への支援	評価
<p>1. 【王寺町は観光のためにどんな取り組みをしているのかを知る。】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この前ミルキーウェイがあったけど関係があるかな？ 	<p>○観光ガイドや冊子を準備したり，ホームページを案内し，王寺町がどのような取り組みをしているのか考えられるようにする。</p>	(ウ)－②
<p>王寺町がさらに発展していくためには，情報をどのように活用していくとよいのだろう。</p>		
<p>2. 【王寺町観光協会はどうの方法で情報を伝えているのか考える。】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光協会の人にとって欲しい情報は何か？ 	<p>○「観光協会の人，どんな情報を欲しいと思うのか」などを自分たちの視点に立って考えられるようにする。また観光協会の人の仕事に対する情熱にも気付けられるようにする。疑問に思ったことは，質問状を作成し，聞く。</p>	(ア)－①
<p>3. 【ボランティアガイドさんはどのような活動をしているのか知る。】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光ボランティアさんはどんなことをするのか？ 	<p>○ボランティアガイドさんをゲストティーチャーに迎え，どのように情報を活用しているのか考えられるようにする。また，ガイドさんが王寺町の魅力をどのように伝えているのかも考えられるようにする。</p>	(イ)－① (ウ)－①

<p>4. 【王寺町観光協会の方からの返信やボランティアガイドさんから聞いた情報をまとめる。】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光に来る人はこんなにいるんだ。 	<p>○観光協会の方へ質問した内容やボランティアさんにインタビューした内容を整理し、情報を活用することにどんなよさがあるのか考えられるようにする。その際、一つの見方だけでなく、いろいろな立場から考えられるようにする。</p>	<p>(ア)－①</p>
<p>5. 【来客者数などの情報を活用することで観光客や王寺町観光協会にとってどのようなよさがあるのかまとめる。】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国別の来日者数が出ているけど、役に立つのかな？ 	<p>○観光客と王寺町観光協会の2つの視点に立ち、どのようなよさがあるのか考えられるようにする。また、共通点も見つけられるようにする。</p>	<p>(イ)－① (ウ)－①</p>
<p>6. 【観光客にとってうれしい情報はどんなものなのか考える。】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私はおすすめのスポットがわかるといいな。 	<p>○これまでの学習を踏まえて、「自分ならどのような情報があると観光する時に役立つのか」など、自分の立場に立って意見を考えられるようにする。</p>	<p>(ア)－① (イ)－②</p>
<p>7. 【王寺町がさらに観光の町として発展するためにはどんな取り組みが必要か考える】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雪丸を主人公にしたイベントはどうかかな？ 	<p>○これまでの王寺町の取り組みも参考にしつつ、子どもたちの柔軟な考えで意見を出し、自分の考えや意見が活発に言い合えるようにする。</p>	<p>(ア)－② (ウ)－②</p>

8～10は、総合的な学習の時間で行います。

<p>8. 9. 10 【情報を活用し、観光案内を作る。】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たち目線で作ったら、家族向けの案内になりそう。 	<p>○自分たちが欲しい情報やこんな情報があるとわかりやすいなど、前時の話し合いの意見も入れつつ観光案内を作る。その際には、観光協会やボランティアガイドさんの話も参考にしてアイデアを出させるようにする。</p>	
--	---	--

6. 本時について

(1) 本時の目標

- ・観光客と観光協会の2つの立場に立ち、情報を活用するとお互いにどんなよさがあるのか考え、気付くことができる。
(思考力・判断力・表現力等)

(2) 本時の展開

時間	学習内容	指導上の留意点(・)児童の反応・行動(○)	準備(・) 評価(【】)
導入	1. 前時の復習をし、めあてを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・スライドを見ながら、「ボランティアガイドさんがどんなことを言っていたのか」など前回まとめた内容を振り返らせる。 ○グループで話し合いながら、前時の内容を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の内容をまとめたスライドを作成する。
<p>情報を活用すると、お互いにどんなよさがあるのだろうか。</p>			
展開	2. 観光協会と観光客の2つの立場に立ってどんなよさがあるのか考える。 3. グループで考えたそれぞれの立場でよいと思うところを発表する。 4. 共通してよいと思う所を考え発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ○パソコンやパンフレット、ボランティアガイドさんから聞いたことをもとにして考える。 ○ロイロノートのシンキングツールを使い、まとめていく。 ・パソコンばかりに気がとられがちになるので、班で話し合いをするように促す。 ・なぜ、そのように考えたのか理由も説明させるようにする。 ○自分たちが考えたり気付いたりしたことを発表する。 ○話し合いを通じて、共通してよいと思う所をまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・パンフレットなどを箱に入れて用意しておく。 【イー①】それぞれ立場でよいと思う所を考え、表現している。(ロイロノート・発言) 【ウー①】よいと思う所を伝えたり、他のグループの意見も聞き、新たによいと思う所を探そうとしている。(観察・発表)
まとめ	5. まとめをして、次の活動内容を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめを行い、次の時間の予告を行う。 	